

NPO法人 くにたち農園の会 2025年度 活動報告書



「くにたち農園の会」につきまして

2013年にコミュニティ農園「くにたち はたけんぼ」を開園。2016年にNPO法人として設立。現在、「くにたち はたけんぼ」を筆頭に、「国立市地域子育て支援拠点事業 つちのこひろば」「認定こども園 かえるの森」「暮らしのアトリエ 藍と土」「ゲストハウス ここたまや」と5つの事業所を展開。「くにたち はたけんぼ」には年間のべ9000人以上の方々を迎えています。「耕そう！遊ぼう！つかみ穫ろう！東京の田畑で育つ生きる力」をテーマに、「土に根差し 共に育つ たくましい地域を次世代へ」の実現を目指しつつ、「農体験」と「子育て」を2本柱に、多様な人々への農や自然体験や田畑とつながる子育て支援を実践しています。（くにたち農園の会ホームページ <https://k-nouennokai.org/>）

ご挨拶

2025年度は、認定こども園の新体制による運営開始に加え、名称変更（新名称「認定こども園 かえるの森」）も行い、各事業の運動が進み、日々の活動の基盤がより強固になりました。職員・スタッフ各位の働きはもちろんのこと、関係する多くの方々に支えられながら、着実に前に進んだ一年でした。支えてくださる皆さまには心より感謝申し上げます。

また、谷保の水田環境の保全を改めて促進していくための「東京まんなか水田 やぼたん」プロジェクトを開始すると共に、3月末には地域の子育て拠点や地域内の団体の皆さまのご協力のもと、農園の会史上最多の総勢400名近い皆さまにお越しいただいた「こどもまつり」など、新たな広がりをを感じる一年にもなりました。

法人として10周年となる2026年度も足元の事業を大事にしながらも、新たにこの地域において、我々が貢献できることを見据え、着実に進んでまいります。

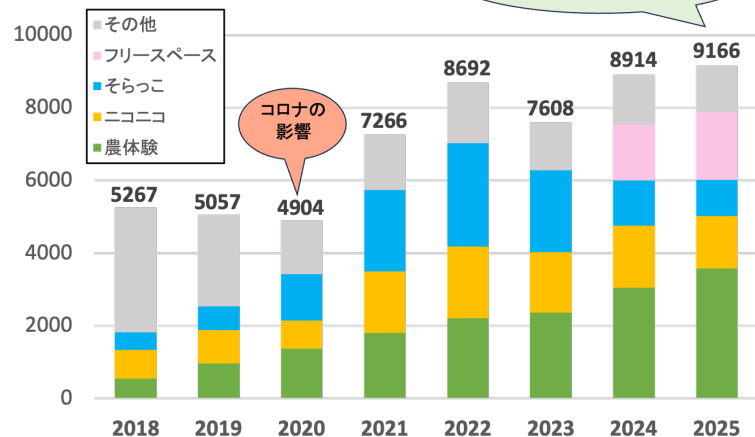
理事長 武藤芳暉

武藤 芳暉



はたけんぼ来場者推移(2018-2025年度)

=農体験ならびに
フリースペースの堅調な伸び



＜農園事業＞

農体験

2025年度は「はたけんぼ」では遂にのべ9000人以上の来場者を突破しました。ことに農体験においては、「親子田んぼ体験」の受入拡大を行い、年間登録者が400名を超え(約35%増)、これに草木染め事業の拡大、綿藍・蚕等の各種農体験イベントを含めると累計の参加者は3,932名となりました(対前年度比約17%増)

また、東京都の「生産緑地を活かした体験農園等普及事業」に採択され、水田事業を「東京まんなか水田 やぼたん」としてリブランド化。更に「はたけんぼ」産の米を原料としたクラフトビール「田圃にカエル」を醸造、2月の農園祭で披露しました。

今後とも都や市とも連携し、水田を核とする里山環境を東京に残していける様、その更なる発展に取り組んでいきます。

(武藤芳暉/小野淳)

〔2025年度活動記録/実績〕

参加者累計: 3,932名
親子田んぼ体験: 1,462名
大人田んぼ体験: 271名
田んぼ/小麦体験(*) 1,476名
草木染め: 168名
その他555名
(*: 外部協力プログラム)

＜田んぼ体験＞

種蒔き/5月、田植え/6月
草取り/6-7月、稲刈り/10月
収穫祭/11月、注連縄/12月
餅つき/1月

＜その他＞:

くにたちどろまみれ/国産花
火大会/やぼたん農園祭/
小麦/綿/蚕、他



2月11日農園祭では市長も挨拶で「水田保全」を明言



水田のプロジェクトの総称が「やぼたん」

＜農園事業＞

暮らしのアトリエ 藍と土

(2025年度まで: 畑の家・みんな畑)

2020年より始まった本事業も6年目を迎えました。前年に引き続き、レンタルスペース・染色や農ある暮らしのワークショップ(主催)・酵素の会や手しごと倶楽部(共催)・コミュニティ菜園・区画貸しを継続しました。新たな試みとして、大地の再生の考え方に基づく庭づくりに取り組み、外部講師や農園の会スタッフが連携した「農ある暮らしのワークショップ」を共催で開催するなど事業の拡大を図りました。

一方でコミュニティ菜園・会員・区画貸しの利用は頭打ちとなり、事業を見直す転機となりました。活動がより活発になるよう新たに土間という空間をつくることを決め、2026年4月に「畑の家」から「暮らしのアトリエ 藍と土」へ刷新。ハウジングアンドコミュニティ財団の令和8年度助成に採択され、2026年は、草木染めのできる土間空間に加え、全体のリニューアルを行っていきます。

(安斎亜由美)

[2025年度活動記録/実績]

＜畑の家＞

会員数 14名

利用回数 342(64)回

*()内当会以外の利用回数
利用時間総数 約1,398時間

＜みんな畑＞

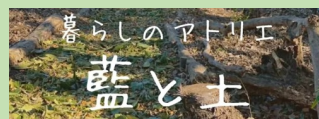
活動 51回/132時間

のべ参加者 122名

＜イベントなど＞

活動 129回/参加者 433名

染色、手しごと倶楽部、酵素の会、農ある暮らしのWS、他
スペース貸 34回/101時間



みんな畑作業風景



藍染研修

＜観光事業＞

ゲストハウス ここたまや

学生団体「たまこまち」も10期目の新入生がはいってきました。2019年の開業以来、卒業生も含めると120名を超える若者たちが谷保での農泊事業に関わってきたこととなります。(メンバー同士での結婚、出産という嬉しいニュースも2025年にはありました)。

宿泊事業と同時に1か月以上の中長期滞在の受け入れも過去最多となり。売上としても最大記録を達成。実働メンバー30名以上という大所帯ながら学生たちの事業精度も上がってきていると感じます。代表の関上さんは「ここたまや」での経験をもとに早稲田大、一橋大のビジネスコンテストでダブル優勝。谷保地域における若手人材の活躍拠点としてさらに存在感を出せるようにサポートしていきます。

(小野淳)

[2025年度活動記録/実績]

宿泊実績

営業日数:176日

延べ宿泊日数:477日:

宿泊者数154人(うち33名外国籍)

アパート利用者 6名

都心の宿泊、賃貸の高騰もあつてか中長期滞在の需要が増えている。
まさしく谷保の暮らしを体験できる施設となってきた。



卒業生を含めると120名を超える「たまこまち」



長期滞在者も増え「谷保で暮らす」体験を提供

＜子育て事業＞

認定こども園 かえるの森

2025年度は、当園にとって大きな転換と飛躍の年となりました。年度当初、体制変更等により園児数が12名まで減少しましたが、園名の刷新と共に基本理念や保育教育目標を再構築。新事業として、2歳児対象の「多様な他者との関わりの機会の創出事業」や満三歳児クラスを開始しました。

また「すくわくプログラム」の導入や、地域保育者を対象とした不適切保育防止・メンタルヘルス研修も実施。こうした多角的な取り組みが実を結び、年度末には園児数が21名まで増加しました。2026年4月からは27名の園児を迎え、より地域に根差し、循環する質の高い保育の実現に向け邁進してまいります。

(久保田修平)

[2025年度活動記録/実績]

＜園児＞

満3歳クラス4名

たんぽぽ(3歳)7名

どんぐり(4歳)8名

ひまわり(5歳)2名

＜園行事＞

入園進級式/電車遠足/バス遠足/お泊り保育/夏季保育/夏祭り/親子スポーツデー/焼き芋/お餅つき/親子ワクワクデー/レストランやさん/お別れ遠足/卒園式/他 誕生会・季節行事・個人面談・保育参観・子どもの日々を語る会(懇談会)

＜地域に向けて＞

オープンデー24回

親子ひろば22回



こどもの個々の多様性を表した「かえるの森」のロゴ



はたけんぼでの稲刈り(農体験)

<子育て事業>

国立市地域子育て支援拠点事業 つちのこひろば

国立市より子育て支援拠点事業の委託を受け8年目になりました。2025年度は子育てひろばを利用したくても利用できないご家庭に対して「おうちひろば」を開始しました。スタッフがおもちゃをご家庭に持参し、一緒に遊んで過ごしながら子育てに関する情報提供をしております。家庭毎の育児ニーズに対応しながら、引き続き取組んでまいります。

2026年度は重要文化財「本田家」一般公開が始まる予定で、所縁のある「やぼろじ」にも沢山の方々が訪れることでしょう。やぼろじに関わる講師陣との交流も、つちのこひろばの魅力のひとつです。「出会い・体験・きっかけ」を得られる場として、皆様のお越しをお待ちしております。

(小林明枝)

[2025年度活動記録/実績]

利用者数:3885名(上半期
1627名、下半期 2258名)

=あそびの講座
わらべうた、音楽・表現あそび、医療的ケアっこのじかん、畑よりなど
=まなびの講座
離乳食講座、歯育て講座、ゆる防災、発達おしゃべり会、ママ部活など
=出張ひろば
城山公園、南区公会堂
=その他
おうちひろば、コーヒーtime、絵本シアター、リサイクルリンク事業など



コーヒーtime



夏の出張ひろば

<子育て事業>

放課後クラブ ニコニコ

放課後クラブニコニコは2025年7月、おかげさまで10周年を迎えました。週1回から始めたニコニコの活動は、月～木の週4回の活動で定着し、午前中のフリースペースと合わせて、平日日中も子どもたちと畑で過ごす穏やかな時間が流れています。ニコニコでは年齢の近い大学生スタッフと子どもたちとの関わりを大切に考え、意図的に配置しています。

参加者の親世代にあたる社会人スタッフとは異なり、より近い目線・立場、感性で子どもたちと接する存在が、子どもたちにとっての安心と、良い刺激の両方に繋がっています。そして毎年スタッフも卒業し、新しく入ってくる、別れと出会いもそれぞれに受け止め、子どもたちは成長していると感じます。

今後の課題は、入れ替わりのあるスタッフの質の向上のため、研修を充実させていきます。

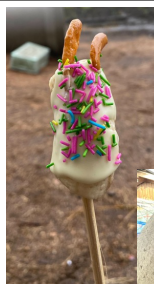
(村井里子)

[2025年度活動記録/実績]

参加者累計:1,465名
8月と年末年始を除く月～
木曜日に活動(176回)

プログラム例

=田んぼ(種蒔き/田植え/収穫/竈門新米ごはん)
畑(綿/藍/年間通しての野菜栽培約20品目)
=おやつ作り(かまどご飯/ホットケーキ/よもぎ餅/薪窯ピザ/味噌汁/ポテト)
=クラフト(竹箸/弓/木工/染色/糸紡ぎ/機織り)
=生き物(用水の生き物探し/やぎや烏骨鶏の世話)
=他(ハロウィンコスプレ/足湯/どろまみれ/用水川下り)



手作りおやつ充実
(チョコバナナ、
焼きマシュマロ、
カレーパン)



やぎのお散歩

<子育て事業>

森のようちえん 谷保のそらっこ

「空の下であそぼう」が合言葉!

2025年度も、多くの親子や子どもたちと活動ができました。畑仕事や田んぼの1年の他に、感触あそびや手しごと、工作などを取り入れ、多くの経験をすることができました。高尾山への遠足では、年少から小学校高学年までの子どもたちがチームに分かれて登山を楽しみました。下山後、はたけんぼでのテント泊にチャレンジした子もいました。はたけんぼの自然の中、かけがえのない親子時間や子ども時代を過ごし、自然の不思議に触れ、自然科学の学びを通して知的好奇心の種をまく、そんなひろばでありたいと思います。今後も、そらっこらしい温かな子育ての輪を広げ、五感を耕し、たくましく生きるための根っこを育て、一人ひとりが夢中になることを見つけて、目を輝かせる瞬間を共にしたいと思います。

(荒木友梨)

[2025年度活動記録/実績]

年間47回開催
延べ1085人参加

<はっぱひろば>

/おやこひろば>

田んぼの1年(代掻き、田植え、稲刈り、脱穀、収穫祭)、草木染、よもぎ団子、用水遊び、スイカ割、手打ちうどん、陶芸体験、感触遊び、お馬さんとのふれあい、季節のクラフト、など

<遠足企画>

武蔵国分寺公園、ゆうやけこやけ川遊び、高尾山登山、いかだレース見学、など



個性豊かな季節のリース作り(はっぱひろば)



落ち葉で大胆に遊ぶ(遠足)

<子育て事業>

フリースペース はたけんぼ

2025年度の登録者は約60名となりました。これまでの「はたけんぼ」に加え、「畑の家」、「遠足」、「旅」など、活動場所が多様に広がり、それぞれの場所の特性を生かした活動が深まった1年でした。日常を離れた経験の中で得た自信や達成感が、はたけんぼで過ごす毎日にも影響し、その自信がまた次なるチャレンジへとつながっていく様子があり、そんな子どもたちの様子はとても頼もしいものでした。新しいメンバーが増えるたびに、関係性が多様に変化する中で、子どもたち同士が互いを気遣い、支え合い、違いを受け止めながら関わる姿が多くみられました。応援して下さる皆さまに感謝しながら、引き続き「安心・安全」を土台にして、子どもたち一人ひとりの歩みに寄り添った活動を充実させていきたいと思ひます。

(佐藤有里)

[2025年度活動記録/実績]

年間154回開催
延べ1826人参加

<思い思いに>

火起こし、料理、動物のお世話、鬼ごっこ、木工、生き物探し、散策 他

<遠足>

昭和記念公園、ゆめパーク、四ツ田緑地、六道山公園、秋川溪谷、国立科学博物館、江の島、井の頭動物公園、給食センター、多摩湖、清水公園、他

<保護者交流会>

焚火の会

<他団体や行政連携>

教員研修(国立市)



1年を振り返って自己評価



池ボチャ続出、楽しかったアスレチック遠足

<子育て事業>

旅するがっこう

年間で、合計50日を超えて旅に出ました。各地域拠点との連携が一層深まり、海や森をフィールドにした企画では、特に活発な活動が展開されました。北海道での「生き物」をテーマにした旅では、博物館のバックヤード見学やナイトハイク、川探検をはじめ、現地の専門家の方と交流を深めながら、生き物好きの子どもたちが存分に探究活動を繰り広げ、日常に戻ってからの活動内容にも還元されて行きました。長野の森では、念願のツリーハウスが、ほぼ子どもたちだけの力で完成しました。

「好きなことに没頭できる」ということが、子どもたちの心と体を解放させ、エネルギーを充電し、一人ひとりの個性や力を伸ばしていくことを実感します。今後も様々な体験やチャレンジができる機会を作っていきたいと思ひます。

(荒木友梨)

[2025年度活動記録/実績]

<日帰り旅>

・実施回数 8回

・参加者 延べ184人

江の島、葉山磯遊び
御岳ラフティング、地引網
登山、スキー、他

<宿泊旅>

・実施日数 44日間

・参加者 延べ200人

長野 森のあそび場作り
南房総海キャンプ
洞網海岸 海キャンプ
相模湖カヌーキャンプ
長野スキーキャンプ
長野思っきり雪遊び
北海道生き物ツアー／馬との暮らしキャンプ
はたけんぼキャンプ



念願のツリーハウス作り(長野)



伸び伸びジャンプ！海遊び(南房総)



特定非営利活動法人 くにたち農園の会
〒186-0011 東京都国立市谷保5119(やぼろじ内)
電話 042-505-7200

2016年12月2日 非営利活動法人内閣府認証取得
2016年12月15日 設立(登記完了)

<役員/事務局>

理事長: 武藤芳暉、副理事長: 小野淳

理事 3名、監事 1名、事務局長 1名

<事業所>

- ①コミュニティ農園 くにたち はたけんぼ
- ②国立市地域子育て支援拠点事業 つちのこひろば
& くにたちの農園の会事務局(やぼろじ内)
- ③暮らしのアトリエ 藍と土
- ④ゲストハウス ここたまや
- ⑤認定こども園 かえるの森

ホームページ

<https://k-nouennokai.org>



ご寄付・ご協力頂いている主な企業・団体名

- ・株式会社メトロール
- ・東京三菱UFJ銀行 立川支店
- ・ニッポ一設備株式会社
- ・WAKUWORKS株式会社
- ・満建築工房株式会社
- ・株式会社 エマリックにたち
- ・SPEAC,inc
- ・株式会社武藤興業
- ・LOHATY
- ・株式会社 働きかた研究所
- ・認定NPO法人 オーシャンファミリー

(敬称略・順不同)